



大学通り(秋) [D-2/D-3]

春には、満開のソメイヨシノの下をそぞろ歩きできる大学通り。秋にはイチョウの紅葉を眺めながら季節の変化を楽しみます。



一橋大学 国立市中2-1 [D-2]

産業界に多くのリーダーを輩出してきた社会科学系国立大学法人。関東大震災で被災した神田から国立に移転。



東京都多摩障害者スポーツセンター 国立市富士見台2-1-2 ☎042-573-3811 [D-3]

障がいをもつ人がスポーツを楽しめるように、プール・体育館等を設置し、各種教室を実施。納涼祭等には誰でも参加できます。



矢川緑地(東京都保全指定地域) 立川市羽衣町3丁目 [A-3/B-3]

立川市との市境にあり、湿地帯の樹木に野鳥もやってくる小さなオアシス。緑地の湧水を集めた矢川が南へと流れていきます。



青柳稲荷神社 国立市青柳236 [A-4]

地域を守るお稲荷さんの守り神は石造りのキツネ。1月どんど焼き、2月初午、8月盆踊り、9月例大祭が開催されます。



南養寺 国立市谷保6218 [B-4]

臨済宗建長寺派の禅寺。本堂は江戸中期の再建。大晦日のみ公開される観音堂の故・前田常作氏の天井マンガラ図は必見です。



さくら通り(春) [B-3/C-3/D-3]

毎年春に、枝を伸ばした桜がつくるアーチの風景は本当に美しく、写真撮影の人気スポットのひとつです。



くにたちアートビエンナーレ [D-2]

2015年にスタートした2年ごとの芸術祭。2015年の野外彫刻展受賞作品6点が、大学通りに設置されています。



くにたち市民芸術ホール 国立市富士見台2-48-1 ☎042-574-1515 [C-3]

336人収容のホール、70人規模のスタジオ、音楽練習室、ギャラリーなどを備えた市のアート関連施設。隣は総合体育館。



ママ下湧水公園 国立市矢川3-12 [B-4]

ママとは土地の言葉で崖線のこと。南部の崖線下にある10カ所ほどの湧水ポイントのなかでも、最大の水量があります。



滝乃川学園本館(国登録有形文化財) 国立市谷保6312 [B-4]

日本初の知的障がいの人々のためのキリスト教系福祉施設。昭和初期に建てられた本館は10月末の文化財ウィークに一般公開。



多摩川サイクリングロード [B-5]

多摩川河川敷にはサッカーや野球のグラウンドがあり、川沿いのサイクリングロードを自転車で行けば、東京湾まで行けます。



## 赤い三角屋根の旧国立駅舎

**旧国立駅舎ってナニ?**

谷保天満宮と並ぶ、くにたちのまちのシンボル「旧国立駅舎」。開業した1926年(大正15年)から2006年(平成18年)までの80年間、まちの玄関口として、あるいは待ち合わせ場所として、市内の人にも市外の人にも親しまれてきました。都内では、原宿駅舎に次ぐ古い木造駅舎で、2006年には国立市有形文化財建造物に指定されました。

## 三角屋根で“まちあわせ”

1964(昭和39)年の東京オリンピックでは、国立駅を背に聖火ランナーが駆け抜けました。(くにたち郷土文化館所蔵)

2006年、JR中央線の高架化に伴い、借られながら駅舎としての役割を終えた後、丁寧に解体され、部材は市の保管庫に保存されました。市民から多くの寄付が集まり、2018年には再築がはじまりました。再築後の旧国立駅舎は、広間・まち案内所・展示室の3部屋で構成され、2020年4月、まちの魅力発信拠点として、ほぼ元の場所に戻ってきました。活用をキャッチフレーズは「三角屋根で“まちあわせ”」。これはもともとの駅舎の機能である「待ち合わせ」にまちと出会う「街あわせ」という意味を込めたものです。旧国立駅舎を拠点にまちを巡り、くにたちの魅力を再発見していきましょう。

### 凡例

- 交番 消防署 公園 両替
- JA 農業協同組合 神社仏閣 市役所
- 学校 公共トイレ 郵便局 温泉・銭湯
- 路線バス <にっこバス> 桜の見所
- 商店会地域 河川・用水

**市民トイレ(お店のトイレを利用可)**

- ポポロショッピングセンター [D-2]
- 紀ノ国屋国立店 [D-2]
- 西友青柳店 [A-3]
- ふあみりーざぼーと [C-2]
- 東京都多摩障害者スポーツセンター [D-3]
- とれたの/cafe ここのた [D-4]
- ややこし屋 [D-4]
- たまり場 宙 [D-4]

救急 ☎119 警察 ☎110  
多摩交通(タクシー) ☎042-572-3161  
銀星交通(タクシー) ☎042-575-0458



谷保天満宮 国立市谷保5209 [D-4]

東日本では最も古い天満宮で、狛犬などが国指定重要文化財となっています。静かな森の境内に地域の彫刻家関敏氏の作品も。



城山公園(東京都歴史環境保全地域) 国立市谷保1700 [C-4]

中世の豪族の城館跡。武蔵野の樹林が多く残っています。4月下旬にニリンソウ、8月下旬はキツネノカミソリが見頃です。



府中用水(農林水産省:全国疎水百選) [B-4/C-4 ほか]

夏の間、農地を網の目のように流れる用水には小魚が棲み、希少な昆虫やコサギやカワセミもやってくる貴重な環境。



くにたち郷土文化館 国立市谷保6231 ☎042-576-0211 [B-4]

郷土の歴史や民俗、美術、自然に関する資料がそろった博物館。喧嘩を離れた静かな異空間が心地よく、企画展も随時開催。



国立市古民家(市指定文化財) 国立市泉5-21-20 ☎042-575-3300 [C-4]

城山公園内に、江戸時代の茅葺屋根・入母屋造りの民家を移築。佃戸裏や土間もあり、昔の暮らしの道具を展示しています。

### 郷土文化館グッズ

各種資料に加え、歴史や自然をデザイン化した手ぬぐいや絵葉書、市内でとれたハチミツなども販売中。お土産にぜひどうぞ。



本田家薬医門(国登録文化財) 国立市谷保5122 [D-4]

江戸初期から続く本田家は代々、書家、医者などを輩出。この門は馬に乗っても通れるくらいの高さがあります(内部は通常非公開)。



城山さとのいえ 国立市泉5-21-20 ☎042-505-5190 [C-4]

城山公園の一角にある国立にまつわる情報発信拠点。イベントや収穫体験などを企画し、施設の貸出も行っていきます。



稲作体験水田 国立市泉5-21-20 [C-4]

古民家前の田んぼでは、6月の田植えから10月の稲刈りまで、小学5年生の稲作体験授業が行われます(農業委員会主催)。

## 郷土文化館&古民家の季節の催事

※は古民家で開催

- 1月 まゆ玉団子飾り※ 養蚕の繭の豊作を願い、上新粉の団子とみかんをカシの木に飾ります。
- 2月 節分豆まき※ 邪気を払い、無病息災を願って「福は内、鬼は外!」と豆まき。
- 3月 ひなまつり※ 桃の節句の前後には伝統のひな人形の段飾りを展示しています。
- 5月 端午の節句※ 市民から寄贈された五月人形を展示。庭ではこいのぼりも泳ぎます。
- 7月 七夕飾り※ 織姫・彦星の会出う年に一度の日。願いを書いた短冊を竹に吊ります。
- 8月 わら草履づくり 「くにたちの暮らしを記録する会」の指導で谷保の稲わらでつくります。
- 9月 十五夜団子づくり※ ススキを飾り、上新粉でお団子をつくらせて秋のお月見を楽しみます。
- 11月 千支の折り紙教室 翌年の千支の縁起物の動物を、折り紙でつくりることができます。
- 12月 しめ縄飾りづくり 稲刈りが終わった後の稲わらで、自分だけの正月飾りをつくります。